

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年5月24日（水）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアCC、絶縁油タンクエリア

3 確認項目

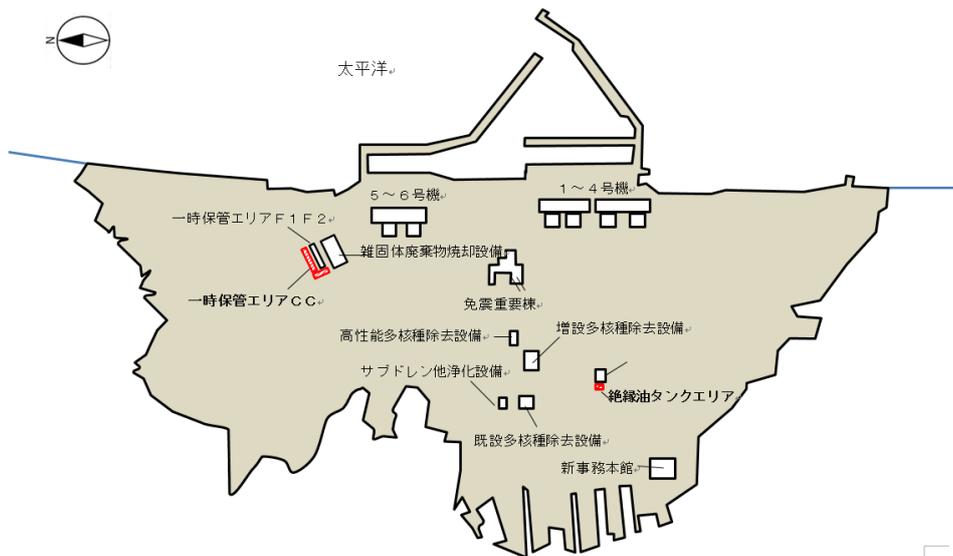
- (1) 瓦礫類一時保管エリアCCの状況
- (2) 絶縁油タンクからの油の漏えい対応状況

4 確認結果の概要

(1) 瓦礫類一時保管エリアCCの状況

廃棄物管理の適正化のため、仮設集積場所から瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）へ変更するための実施計画変更が令和5年3月7日付けで認可されたことを受け、東京電力では3月30日から新たに一時保管エリアを複数設置したことから、そのうちの1つである一時保管エリアCCの現況を確認した。

- ・一時保管エリアCCは、東西方向に細長いエリア（以下「東西エリア」と言う）及び南北方向に細長いエリア（以下「南北エリア」と言う）で構成されており、L字型の形状をしていた。（図1）
- ・東西エリアの東側に入口が設置されており、一時保管エリアF1F2に隣接していた。（写真1）
- ・東西エリアの東側（入口側）には1m³コンテナが4段積みで保管されており、地面には採石が敷き詰められていた。（写真2）
- ・東西エリアの西側及び南北エリアには6m³コンテナが3段積みで保管されており、地面には敷鉄板が敷かれていた。（写真3）
- ・東西エリアは単管パイプ及びロープで南側と北側に区画されており、関係者以外立入禁止の標示が掲示されていた。（写真4）
- ・確認した範囲では、一部歪み等が見られるコンテナがあったが、内容物の漏えい等は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリア CC 入口付近
(南側から撮影)



(写真2)
東西エリア東側 (入口側)
1 m³ コンテナの保管状況
(北東側から撮影)



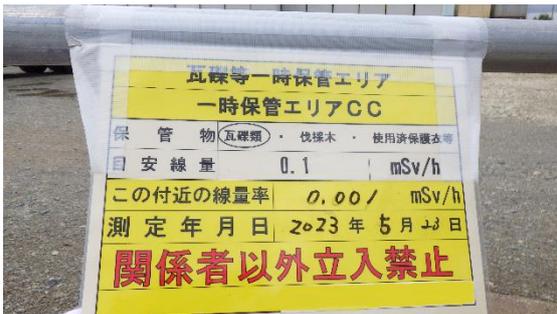
(写真3-1)
東西エリア西側
6 m³ コンテナの保管状況
(北東側から撮影)



(写真3-2)
南北エリア南側
6 m³コンテナの保管状況
(南東側から撮影)



(写真4-1)
東西エリア
単管パイプ及びロープによる区画状況 (東側から撮影)



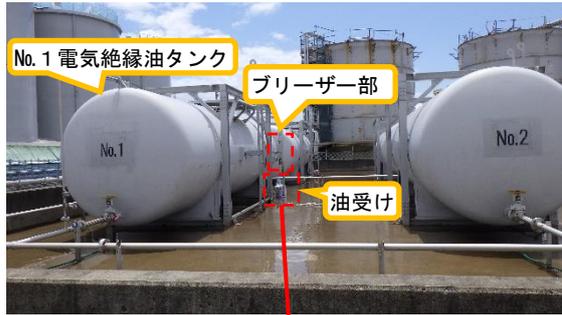
(写真4-2)
一時保管エリアCC関係者以外立入禁止
禁止標示の掲示状況

(2) 絶縁油タンクからの油の漏えい対応状況

5月22日に東京電力社員が絶縁油防油堤内の雨水を排水しようとしたところ防油堤内に油膜があることを確認、計10基ある電気絶縁油タンクのうち1基の電気絶縁油タンクブリーザ[※]部から堰内に絶縁油が漏えいしていた事象が発生したことから、現場状況の確認を行った。

- ・現場確認時、No.1電気絶縁油タンクブリーザ部の下に油受けが設置されていた。(写真5)
- ・東京電力によると、当該ブリーザ部から絶縁油の抜き取りを実施し、絶縁油の漏えいは停止しているとのことであった。

※ ブリーザ部：空気・圧力を放出する通気孔



(写真 5 - 1)

No. 1 電気絶縁油タンクの状況
(北側から撮影)



(写真 5 - 2)

No. 1 電気絶縁油タンクブリーザー部
下部への油受け設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。